

「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」策定に向けた  
現状の報告と予定について

## 1 ワークショップ【報告】

### ①委員について

- ・委員全体合計人数 (1グループ10名×5グループ=合計50人)
- ・公募に対する応募者数 (応募者数:146人 公募期間:5/16~6/16)
- ・公募選考結果人数 (5名×5グループ=25人 結果通知:6/30)

### ②実施概要について

第1回 7月23日(土) ・豊洲 IHI ビル ・オンライン ・書面	地下鉄8号線沿線のまちづくりに期待することや想い、各駅周辺の魅力や課題についての意見交換を行った。
まち歩き (自由参加) 第1回 ~第2回の間 区内各駅周辺	第1回目の意見交換を踏まえ、各駅周辺の魅力や資源等について、まち歩きをしながら確認する。
第2回 8月27日(土) 東川小学校	第1回目の意見交換やまち歩きを踏まえ、延伸がまちに与える影響や各駅周辺で目指す姿を考える。
第3回 9月10日(土) イースト21	各駅周辺の意見を取りまとめ、沿線全体で目指す姿を描くとともに実現に向けた取組みを検討し、まちづくり構想へつなげていく。

## 2 アンケート分析等(案)について【意見聴取】

単純集計・クロス集計・全体総括(分析)の手順でとりまとめを行うことを想定している。(集計、分析(案)はP3以降のとおり)

なお、紙面アンケート(6/10~6/30)の7月25日現在の回収率は、25.2%(1,766/7,000)、Webアンケート(6/21~7/11)回答数(区内1,392/区外63)件である。

### 3 区民まつり出展について【意見聴取】

10月15日及び16日の2日間、地下鉄8号線延伸の概要や機運醸成イベント、パブリックコメント、構想(素案)説明会の事前告知等を行う予定。

### 4 機運醸成イベントについて【意見聴取】

- ・日程：10月29日(南陽小)及び11月6日(豊洲西小)の全2回(予定)
- ・内容：区長挨拶  
学識経験者等による基調講演  
区民の意見等を語っていただくブースを設置(意見ヒアリング)  
ワークショップやまち歩きの成果報告、映像上映  
沿線マップの作製  
小学生への出前講座成果報告

### 5 今後の意見聴取案件について【報告】

- ・10月19日：第3回 地下鉄8号線沿線まちづくり検討部会  
「構想(素案)たたき」の報告と意見聴取
- ・11月中旬：第4回 地下鉄8号線沿線まちづくり検討部会  
「構想(素案)」の報告と意見聴取
- ・11月下旬：第3回 都市計画マスタープラン2022 推進会議  
「構想(素案)」の報告と意見聴取
- ・R5. 2月中旬：第5回 地下鉄8号線沿線まちづくり検討部会  
「構想(案)」の報告と意見聴取
- ・2月下旬：第4回 都市計画マスタープラン2022 推進会議  
「構想(案)」の報告と意見聴取

## 構想策定に係るアンケート集計および分析（案）について

アンケートのとりまとめは、単純集計・クロス集計・全体総括（分析）の手順で行うことを想定している。

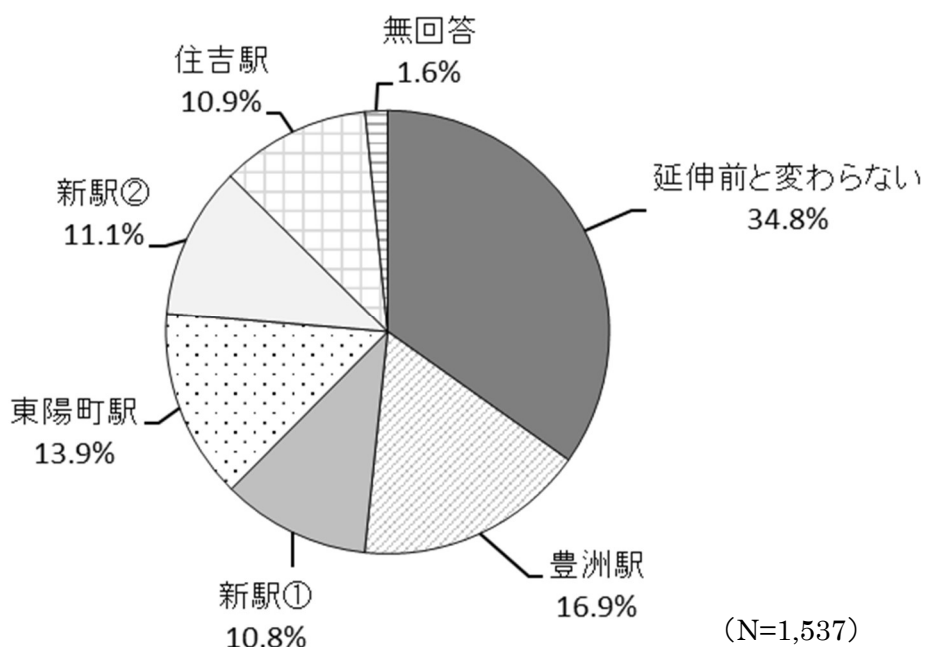
### 1 アンケートに係るスケジュール

- 6月30日 紙面アンケート回答締切
- 7月11日 Web アンケート回答締切
- 7月21日 第2回地下鉄8号線沿線まちづくり検討部会
- 7月27日 第2回都市マスタープラン2022 推進会議
- 8月27日 第2回ワークショップでアンケート結果を活用

### 2 単純集計（例）

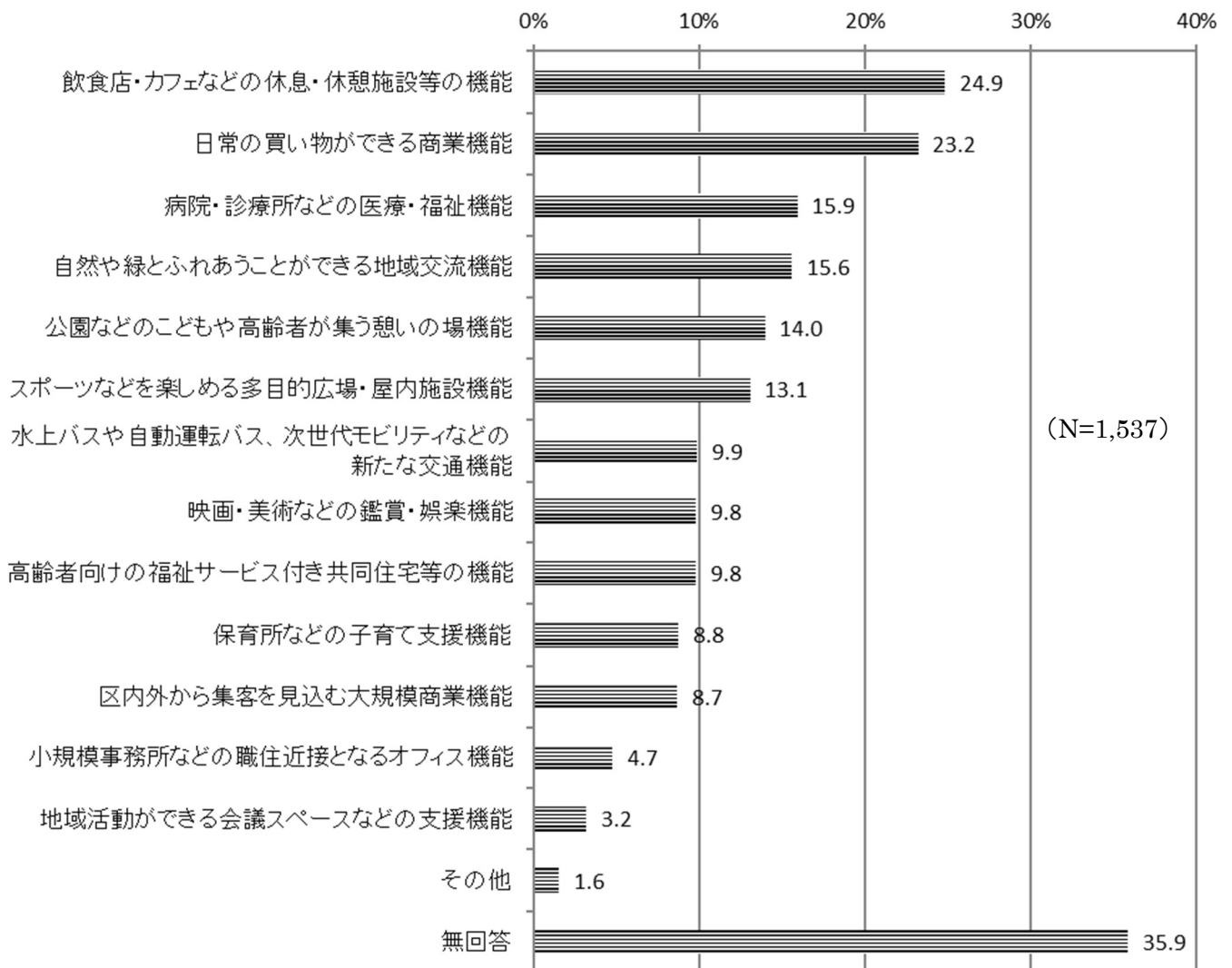
問 10 地下鉄8号線（有楽町線）延伸後に最も利用されると思われる駅は（単数回答）

- 「延伸前と変わらない」が34.8%と最も多く、次いで「豊洲駅」が16.9%、「東陽町駅」が13.9%、「新駅②」が11.1%となっている。



問 15-2 地域の拠点としてあるとよいと思う新たな機能を教えてください（新駅①）（複数回答）

- 「飲食店・カフェなどの休息・休憩施設等の機能」が24.9%と最も多く、次いで「日常の買い物ができる商業機能」が23.2%、「病院・診療所などの医療・福祉機能」が15.9%、「自然や緑とふれあうことができる地域交流機能」が15.6%となっている。

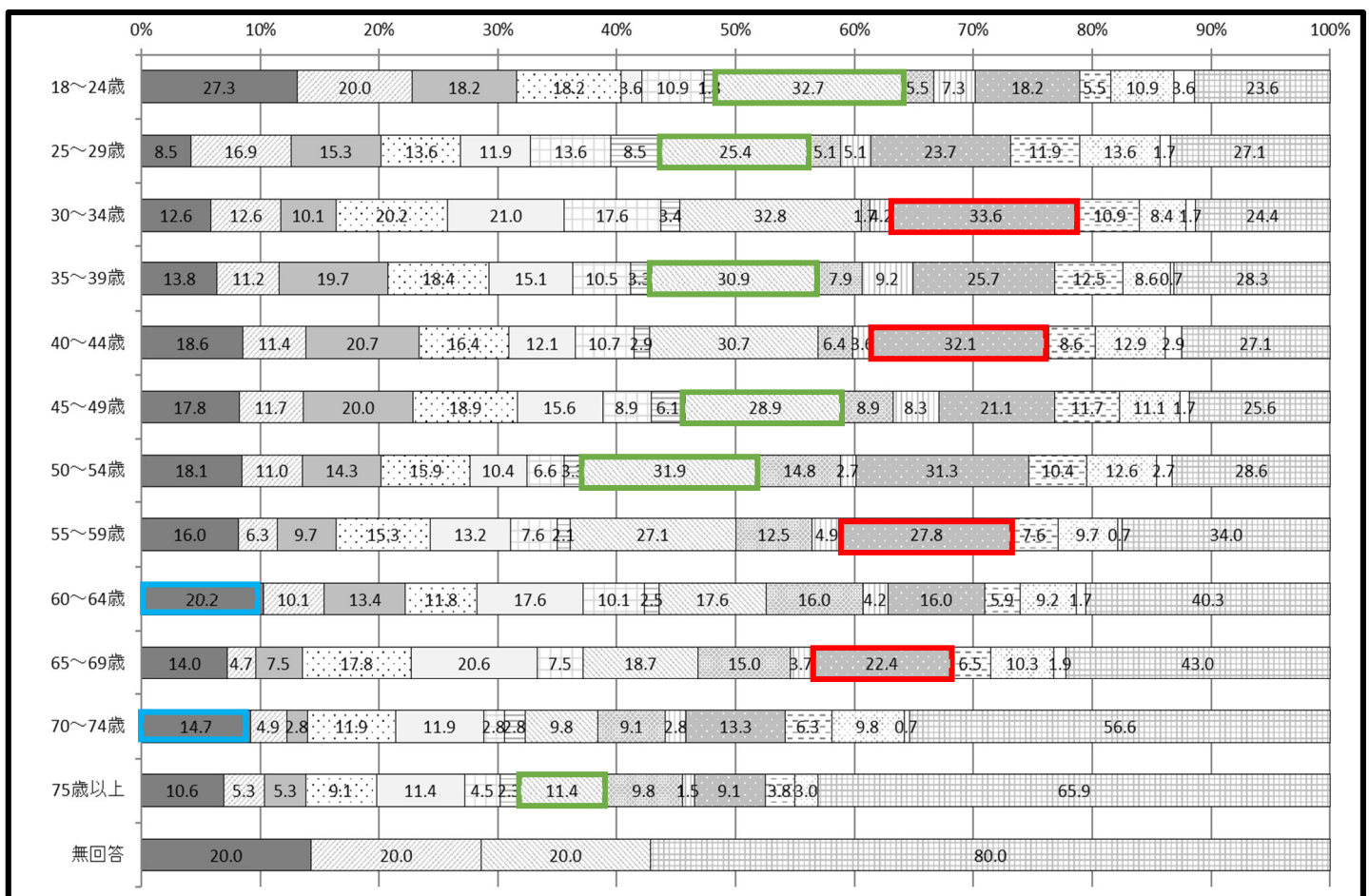


### 3 クロス集計（例）

問 15-2 地域の拠点としてあるとよいと思う新たな機能を教えてください（複数回答）

#### ① 年齢とのクロス集計（新駅①）

- 年齢別で見ると、「飲食店・カフェなどの休息・休憩施設等の機能」や「日常の買い物ができる商業機能」の割合が高いなかで、60歳以上になると「病院・診療所などの医療・福祉機能」の割合が高くなっている。

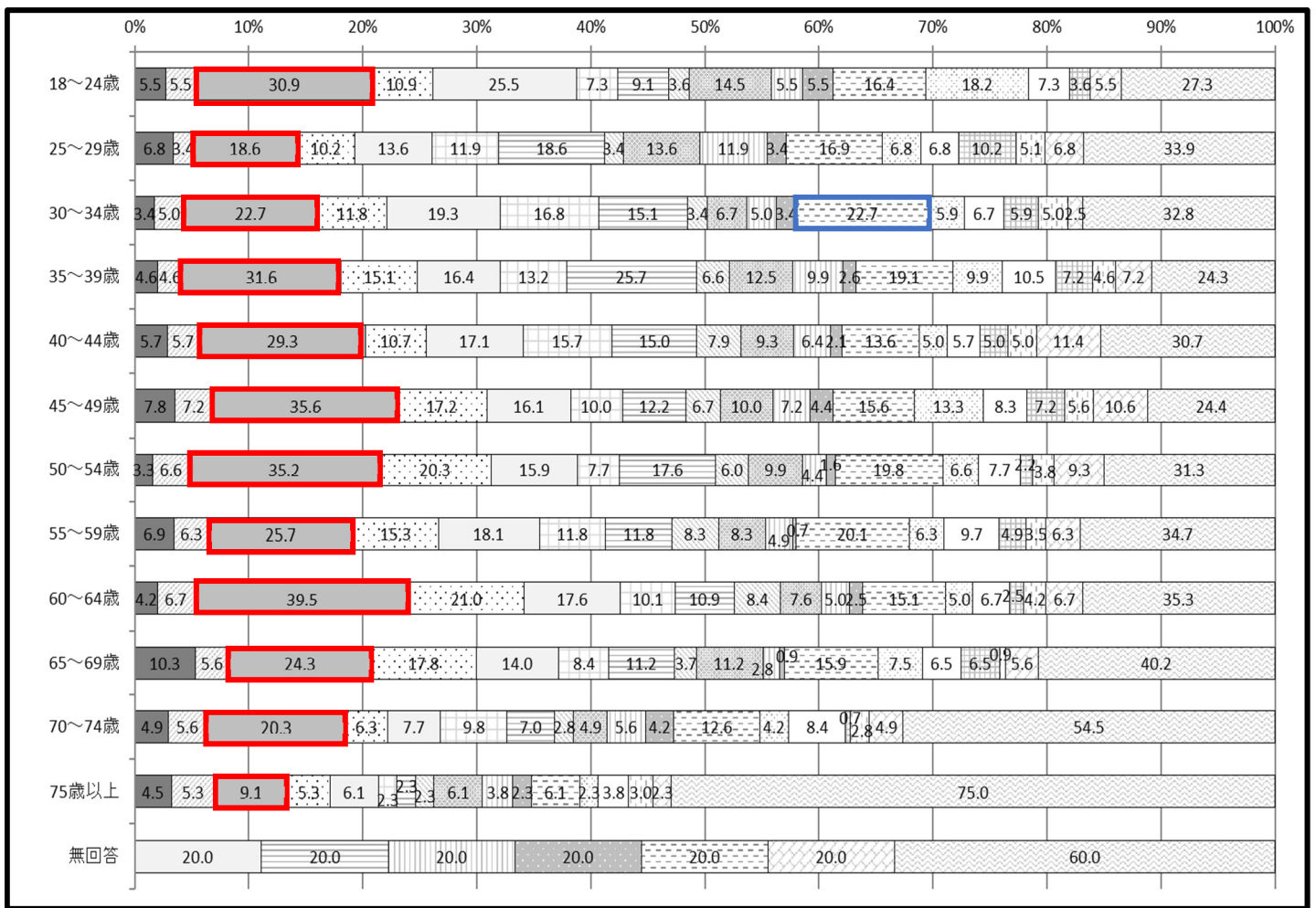


- 病院・診療所などの医療・福祉機能
- 飲食店・カフェなどの休息・休憩施設等の機能
- 映画・美術などの鑑賞・娯楽機能
- スポーツなどを楽しめる多目的広場・屋内施設機能
- 自然や緑とふれあうことができる地域交流機能
- 公園などの子どもや高齢者が集う憩いの場機能
- 保育所などの子育て支援機能
- 地域活動ができる会議スペースなどの支援機能
- 高齢者向けの福祉サービス付き共同住宅等の機能
- 小規模事務所などの職住近接となるオフィス機能
- 日常の買い物ができる商業機能
- 区内外から集客を見込む大規模商業機能
- 水上バスや自動運転バス、次世代モビリティなどの新たな交通機能
- その他
- 無回答

問 16-4 地下鉄8号線（有楽町線）延伸に伴う豊洲、東陽、住吉及び新駅②周辺のまちづくりにおいて、特に重要と考える取組みを教えてください（複数回答）

① 年齢とのクロス集計（新駅②）

□ 年齢別で見ると、全ての年齢において「震災・水害に強い強靱な都市空間づくり」の割合が高くなっている。なお、30～34 歳では「憩う人や訪れる人が快適に過ごせる歩きたくなるまちづくり」の割合も高くなっている。



- 脱炭素社会に向けた環境負荷を低減するまちづくり
- 震災・水害に強い強靱な都市空間づくり
- 自然と調和した快適な生活環境づくり
- 高い生活利便性を享受でき、多様なライフスタイルが実現可能なまちづくり
- スポーツ・文化芸術に親しみ、心身ともに健康に暮らせるまちづくり
- 国際化等の社会変化に応じて豊かな交流・活動を支えるまちづくり
- 都市機能が充実し、誰もが都市サービスにアクセスしやすいコンパクトなまちづくり
- 都市の先端技術を活用したスマートシティの考え方に基づくまちづくり
- 地域にかかわる人々が率先してコミュニティ活動に取り組む、共助のまちづくり
- 資源循環など環境保全を進める循環型社会づくり
- 激甚化する気象災害に対応した減災まちづくり
- 水辺と緑を身近に感じる、快適で活力を生み出す環境づくり
- 人々が一体となり自分らしく輝くことのできる豊かな地域社会づくり
- 区内外から人々が集まり、新たなにぎわいが生まれるまちづくり
- 憩う人や訪れる人が快適に過ごせる歩きたくなるまちづくり
- 歴史・伝統と新たな都市の魅力が共存する美しいまちづくり
- 多様な協働とイノベーションの創出による新たな価値が創造されるまちづくり
- 無回答

クロス集計項目

クロス項目		目的	
問1 (年齢)	×	問12 (居住地域の満足度) ⇒35問あり	●まちづくり課題の明確化及びまちづくりの取組み検討の基礎資料とする。
問2 (居住地域)			
問4 (世帯構成)			
問5 (居住年数)			
問10 (延伸後に利用する駅)			
問1 (年齢)	×	問15 (新規導入機能)* ⇒各駅ごと	●各駅周辺のまちづくりの取組み検討の基礎資料とする。
問2 (居住地域)			
問4 (世帯構成)			
問5 (居住年数)			
問1 (年齢)	×	問16 (まちづくりの取組)* ⇒各駅ごと	●沿線地域及び各駅周辺の目指すべき姿及びまちづくりの取組み検討の基礎資料とする。
問2 (居住地域)			
問4 (世帯構成)			
問5 (居住年数)			

4 全体総括 (分析) の想定イメージ

分析結果	根拠 (設問)
●豊洲駅周辺では、臨海部の玄関口として、交通結節機能の強化を見据えた、水辺環境を生かした交通機能の充実が求められている。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地下鉄8号線 (有楽町線) 延伸後に最も利用する駅として「豊洲駅」と回答のあった世帯のうち、「まちの水辺と緑」の満足度は高い。</li> <li>地下鉄8号線 (有楽町線) 延伸後に最も利用する駅として「豊洲駅」と回答のあった世帯のうち、「南北方向へのバスや鉄道等の利便性」の満足度は●割と低い。</li> <li>豊洲駅において、地域の拠点としてあるとよいと思う新たな機能として、「水上バスや自動運転バス、次世代モビリティなどの新たな交通機能」と回答した割合は●割と高い。</li> <li>自由意見では、「豊洲駅に水上バスの充実」を求める声が多くあがった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問10×問12</li> <li>・問10×問12</li> <li>・問15</li> <li>・問13</li> </ul>
●新駅②周辺では、土地利用転換に伴う地域の拠点性の向上が求められており、特に商業機能の充実が求められている。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地下鉄8号線 (有楽町線) 延伸後に最も利用する駅として「新駅①」と回答のあった世帯のうち、「身近な商店の充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問10×問12</li> </ul>

分析結果	根拠（設問）
<p>実など、日常の買い物の利便さ」の満足度は不満が●割と高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下鉄8号線（有楽町線）延伸後に最も利用する駅として「新駅①」と回答のあった世帯のうち、「開発などに伴う地域の整備状況」の満足度は不満が●割と高い。</li> <li>新駅①において、地域の拠点としてあるとよいと思う新たな機能として、「日常の買い物ができる商業機能」と回答した割合は●割と高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問10×問12</li> <li>問15</li> </ul>
<p>●東陽町駅周辺では、伝統と未来をつなぐ核として、地域のにぎわい再編が求められている。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地下鉄8号線（有楽町線）延伸後に最も利用する駅として「東陽町駅」と回答のあった世帯のうち、「文化センターなど文化・集会施設の整備状況」の満足度は満足が●割と高い一方で、「身近な商店街のにぎわい」の満足度は満足が●割と低い。</li> <li>地下鉄8号線（有楽町線）延伸後に最も利用する駅として「東陽町駅」と回答のあった世帯のうち、「まちづくり活動や地域のお祭り・行事」の満足度は不満が●割と高い。</li> <li>東陽町駅周辺において、地域の拠点としてあるとよいと思う新たな機能として、「地域活動ができる会議スペースなどの支援機能」と回答した割合は●割と高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問10×問12</li> <li>問10×問12</li> <li>問15</li> </ul>
<p>●新駅②周辺では、自然環境の保全と水害対策が求められている。</p>	
<p>.....</p>	<p>.....</p>
<p>●住吉駅周辺では、区内外から多くの人を訪れる拠点として、商業・生活利便機能の充実による拠点性の向上とあわせ、誰もが使いやすい交通結節機能の強化が求められている。</p>	
<p>.....</p>	<p>.....</p>

全体総括（分析）結果と「江東区都市マスタープラン2022」に示された【拠点の方針】を照らし合わせる。

方向性が一致していれば、都市マスに示されたまちづくりを基本とし、近年の動向をふまえた取組み等の追加について検討を行う。不一致の場合は、新たな拠点の方針や取組み等について、ワークショップの中で検討を進める。